

・ 料金の支払方法について

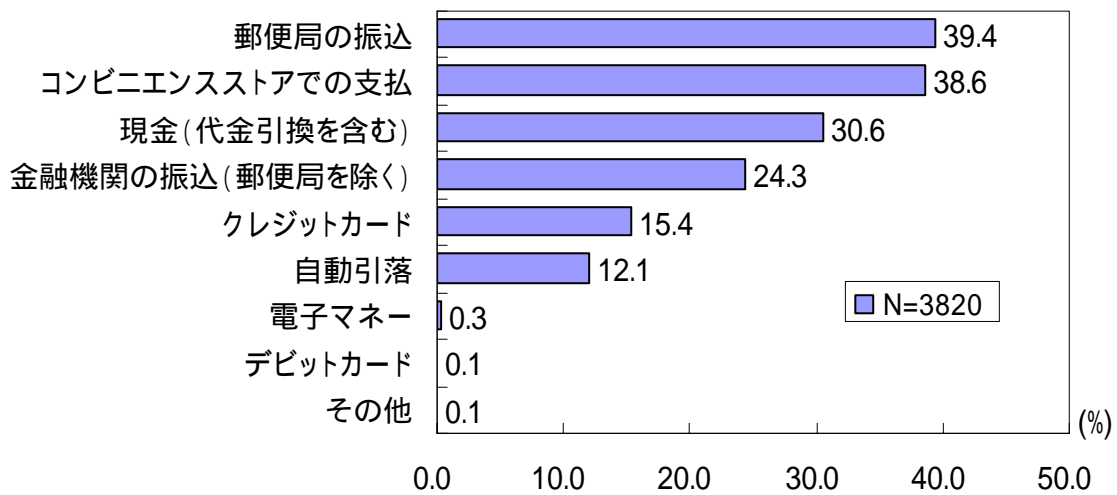
1. 料金の支払方法

問37 最近3ヶ月間に利用した支払い方法について、表の左欄の支払項目ごとに、利用方法を選びをつけてください。(それぞれ はいくつでも)

(通信販売)

最近3ヶ月間に通信販売(インターネットショッピングを除く)において代金支払を利用した世帯(N=3820)に代金支払方法をきいたところ、「郵便局の振込」と回答した世帯が39.4%と最も多く、次いで、「コンビニエンスストアでの支払」(38.6%)、「現金(代金引換を含む)」(30.6%)の順となっている。

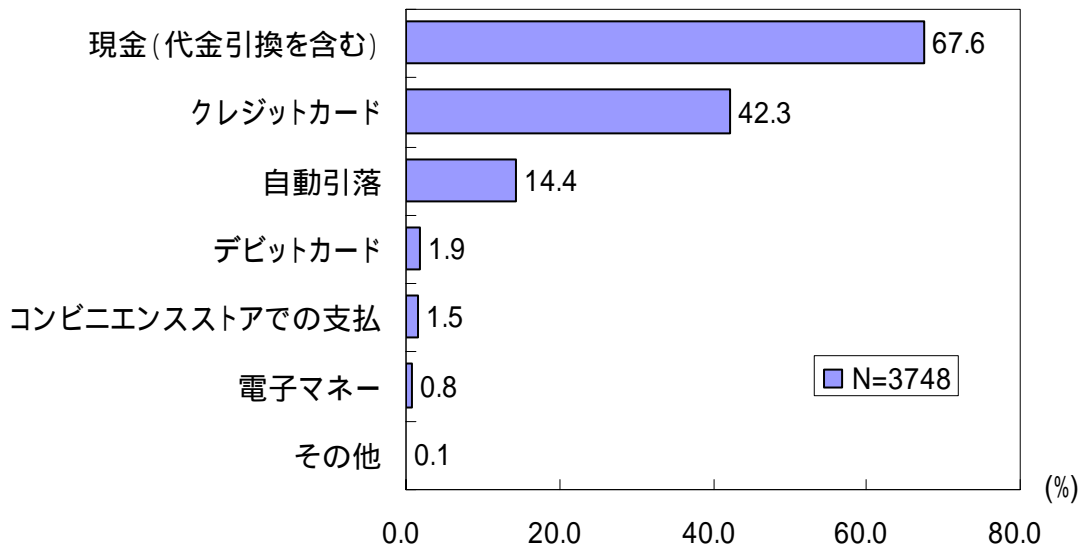
通信販売の代金支払方法(複数回答)



(デパート・スーパー・家電量販店)

最近3ヶ月間にデパート・スーパー・家電量販店において代金支払を利用した世帯(N=3748)に、支払方法をきいたところ、「現金(代金引換を含む)」と回答した世帯が67.6%と最も多く、次いで「クレジットカード」(42.3%)、「自動引落」(14.4%)の順となっている。

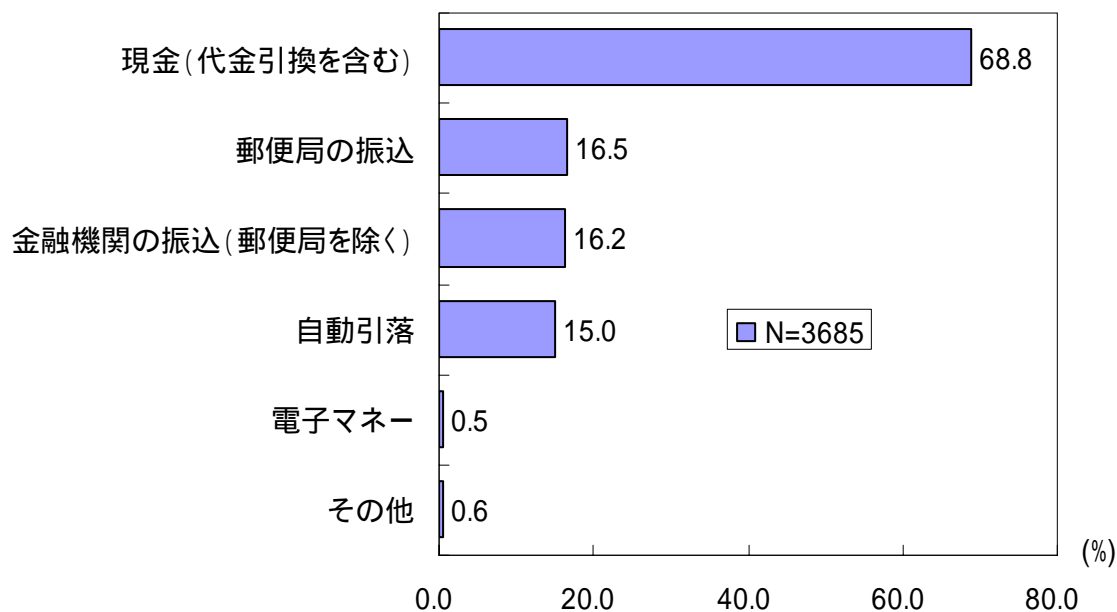
デパート・スーパー・家電量販店での支払(複数回答)



(サークル等の会費支払や個人間の集金・精算)

最近3ヶ月間にサークル等の会費支払や個人間の集金・精算において、代金支払を利用した世帯(N=3685)に、支払方法をきいたところ、「現金(代金引換を含む)」と回答した世帯が68.8%と最も多く、次いで、「郵便局の振込」(16.5%)、「金融機関の振込(郵便局を除く)」(16.2%)の順となっている。

サークル等の会費支払や個人間の集金・精算(複数回答)

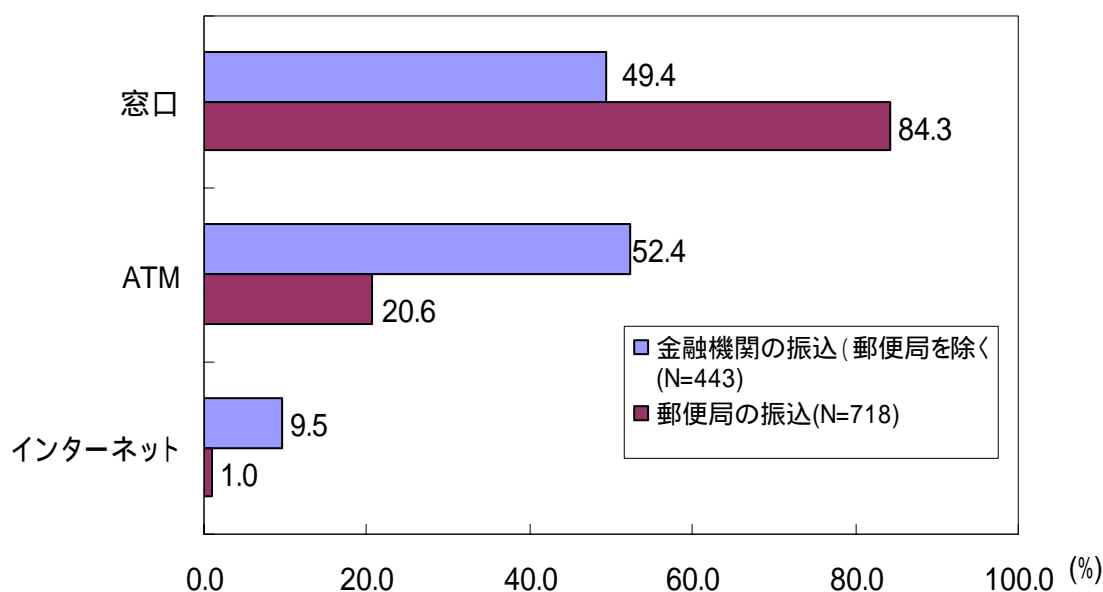


2. 金融機関別支払チャネルの特徴

(通信販売)

金融機関別に支払チャネルの特徴をみると、郵便局では窓口利用が約84%であり、ATM利用(約21%)に比べ圧倒的に多い。一方、郵便局を除く金融機関では、窓口利用とATM利用の割合はそれほど差がない。また、インターネットでの支払割合をみると、郵便局を除く金融機関は郵便局に比べその割合は高くなっている(約9倍)。

通信販売の代金支払における利用率(複数回答)



(サークル等の会費支払や個人間の集金・精算)

窓口の利用は圧倒的に「郵便局の振込」(79.4%)が多く、「金融機関の振込(郵便局を除く)」の割合(39.1%)に比べ約2倍になっている。一方、ATMの利用やインターネットの利用は「金融機関の振込(郵便局を除く)」の割合が「郵便局の振込」に比べて圧倒的に多くなっている。

サークル等の会費支払や個人間の集金・精算(複数回答)

